



## 核兵器禁止条約発効！

### 核兵器の終りの始まり！

### 日本は一刻も早く批准を！

1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。条約はオーストリアやメキシコなどが議論を主導し、17年7月に国連で122カ国・地域の賛成で採択されました。20年10月には批准国・地域が発効に必要な50に達し、90日後の発効が決定。その後カンボジアが批准。以後もペルー、チリ、インドネシア、ブラジルなどが批准すると伝えられています。

1946年国際連合が発足し、総会決議第一号として、核兵器など大量破壊兵器の廃絶を最優先目標に定めました。

ところが東西対立で、米ソの核開発競争が始まり、1954年3月1日、アメリカは桁違いの破壊力をもつ水爆の実験をビキニ環礁で行い、日本の第五福竜丸が被爆しました。

広島、長崎に次ぐ3度目の被爆によって、原水爆禁止の運動が沸き起こり、瞬間に全国に広がりました。世界大会が開かれ、平和行進が行われるなどの原水禁運動が広範に取り組みられ、署名、折り鶴、平和学習、国連への働きかけなどが粘り強く繰り返され国際世論を動かしてきました。その成果が結実したのがこの条約でした。日本の国民的な運動が歴史の1ページを開くものとなりました。



**国連のグテーレス事務総長**…… この条約は、核兵器なき世界という目標に向けた重要な一歩です。私は、条約を批准した国々を称賛し、市民社会が交渉を進め、発効に尽力したことを歓迎しています。核爆発や核実験の生存者は悲痛な証言をし、条約ができる背景としての道徳的な力となってくださいました。条約の発効はそうした方々の不断の活動に対し、敬意を表するものです。



**国連の軍縮担当トップ中満泉事務次長**……(コロナについて)「目に見えないウイルスによって、想像すらできなかった状況が瞬間に広がりました。軍縮は国家間の不信感や緊張感をほぐし、安全保障にも役立ちます。コロナでその役割を再確認し、機運と捉えて進める必要があります。核兵器をなくすという目的は日本も共有しているはずですが、日本だけでなく北大西洋条約機構(NATO)加盟国など(この条約に)反対意見が多いことも事実ですが、ドアを完全に閉めず、オープンマインドで条約を見守ってほしい。条約では、締約国会議には、条約に参加していない国もオブザーバーとして参加するよう招請しています。日本にもオブザーバー参加をしてほしい。



**日本原水爆被害者団体協議会田中熙巳代表委員(88)**…… きょうは核兵器が違法となった人類史に明記される日だ。亡くなった仲間たちに「核廃絶は半分まで成し遂げられた」と伝えたい。政府への要請書では「被爆者の76年間の受け入れがたい苦しみは伝わっていないのか」と訴えた。



**長崎市の田上市長**……核兵器のない世界に一步近づく歴史的な1日です。諦めず努力し続けてきたみなさんと一緒に喜び合いたい。日本政府には条約の署名、批准がすぐには難しくても締約国会議にオブザーバーとして参加して、核兵器をどうすればなくせるか、議論に参加してほしい。



**カナダ在住の被爆者サーロー節子さん**……喜びの大きさは言い表せません。最終ゴールに向かう最初のステップです。核兵器の完全な廃絶を達成するまで私たちを見守ってくださると、広島や長崎で亡くなった人々の魂に報告しました。未来の世代のために私たちの取り組みは続きます。

### 現在の核保有国

アメリカ・中国・イギリス・フランス・ロシアの五大国の他、インド・パキスタン・北朝鮮が保有を表明し、核実験を行っている。またイスラエルは一般的には核保有国と見なされている。

# トランプゲームオーバー

4年間の嵐が去った。「自国第一」を掲げたトランプ前大統領。世界の秩序を壊して混乱に陥れ、世界に、そしてアメリカに分断と対立にもたらした責任は重い。しかも彼は選挙に不正があったなどと難癖をつけて最後まで敗北を認めず、国会突入まであった。それを熱狂的なファンが讃えた。敗北が決まっても、退任直前にお仲間の犯罪者に恩赦を与え、わざわざ困難な外交課題を作りだして置き土産にした。(UAEに230億ドルの武器売却、中国ウイグル自治区でジェノサイドを認定など)そしてホワイトハウスを去るにあたって「戻ってくる」と復活を宣言した。

深い傷を負ったアメリカは民主主義をどう建て直し、分断と対立を解消していくのか。失った国際的な信用を果たして取り戻せるのだろうか。もちろん他国の話であるが、信用と権威を取り戻して、またまた大国として振る舞われるのもご免こうむりたい。

日本はこれだけ米国に振り回されながら、まだアメリカに頼りすぎた生きようとするのか？米中の対立が深刻になればなるほど、日本の立ち位置が大切になる。

バイデン氏に代れば混乱が収まり、日本にプラスになると能天気ではいられない。日米軍事同盟強化要求は必至だ。

## コロナ禍の下で求められる国民の命の安全保障

ワクチンの入手や接種があやふや。入手できるのかも不透明になっている。薬も含め、アメリカなどの製薬会社の開発、製造が遅れている。果たしてウィルスの変異に対応できるのかも不明。大国のワクチン外交に振り回されている感じだ。

いまだにPCR検査も思うに任せず、検査すれば陰性でも10日前後の外出禁止。食事さえままならない。陽性になっても治療も出来ず、自宅療養(果たしてそれは療養なのか？単なる待機だけで突然症状が悪化して死亡などのケースが多発)は不安だけが募る。それなのに指示に従わなかったら刑罰。

なぜノーベル賞受賞などの優れた医師や研究者を出している日本で、ワクチンや薬の開発ができないのか、金がないのか？そうではあるまい。企業の内部留保だけでも国家予算の数倍に相当する500兆円を越すという。

日本人の生命が危うい、そればかりか、すでに一億人が感染したという人類生存の危機さえ迫るときに、なぜ日本が持てる力を発揮できないのか。

## イランとキューバが共同でワクチン開発

新型コロナウイルスのワクチンをイランとキューバが共同で開発している。両国は、共に米制裁に苦しむ状況下で近年接近。イランはキューバの高い医療技術力を生かし、国産ワクチンの開発を進め、現在は最終段階。3月中旬までに大規模な接種を始める計画という。

キューバは隣国の米国が感染大国になってからも独自の医療体制で守っており、イタリアはじめ多くの国に援助の医師団を派遣している医療先進国だ。

# 流山憲法集会 概要決定

## 5月15日(土)

### 13:30

会場 生涯学習センター多目的ホール

講師 **清水雅彦先生**

日本体育大学教授・憲法学  
九条の会(全国)世話人



コロナウィルスのため昨年は中止せざるを得ませんでした。今年も現在はいっそうの感染拡大の中、5月の開催は不透明です。しかし改憲派は安倍前総理の辞任で改憲を諦めるどころか、菅政権は改憲プロジェクトに派閥の領袖を糾合し、布陣を強化して進めようとしています。ここで力を抜くわけにはいきません。何としても憲法集会は開催し、改憲を許さない世論を高めるためにみんなで力を合わせたいと考えています。

## Facebook始めました

九条の会・流山のFacebookを開設しました。

Facebookは双方向のコミュニケーション・ツールです。九条の会流山の会員や応援団の皆様と意見交換していきたいと思えます。随時記事をアップしていきますので、コメント欄にご意見を書き込みしてください。また、ページをフォローしていただければ、最新の記事を見ることができます。

「九条の会・流山」または「@9jouNY」で検索してください。

## 2.19国会前行動 続いています。

2月19日(金) 18:00~

場所: 衆議院第2議員会館前を中心に

フィジカルディスタンスを確保しながらスタンディング  
できるだけ各自のプラカード持参

**安倍9条改憲NO! 全国市民アクション**

共催: 戦争させない

9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

## 新成人への訴え中止

1月10日に予定していた成人式での宣言は、緊急事態宣言で成人式が中止になったため、取りやめました。

宣言を出さざるを得ない状況をもたらした政府の対応も批判を受けていますが、宣言が出たからと当然のように「中止」という選択をした流山市の対応にも疑問が出ています。

## おおたかの森駅宣伝と署名(毎月9日)

2月9日(火) 15:30~16:30

おおたかの森駅自由通路

~~~~~

カンパはこちらの郵便振替口座へ  
00130-5-464735 口座名 九条の会・流山